

# 小学校給食の親子方式導入に係る検証報告

令和7年3月

貝塚市教育委員会

## はじめに

本市では、令和5年4月「貝塚市立小学校の給食運営方針」を策定し、小規模で給食施設の老朽化が進んだ小学校においては、給食施設の建替えは行わず、自校方式に代わる給食の提供方法の導入を検討することと決めました。

これに伴い、令和6年4月から、給食施設の築年数が50年を超え、かつ食数が約70食と小規模である永寿小学校（以下「子校」という。）において、近隣の葛城小学校（以下「親校」という。）で調理した給食を運搬し提供する、親子方式を導入しました。

導入からおおむね1年が経過し、親子方式による給食の運営状況や、子どもたちの様子、食育の推進状況などについて検証した結果を報告します。

## 目次

I.	検証結果	1
1.	導入準備	1
(1)	配膳室	1
(2)	配送スケジュール	1
(3)	業務委託、配膳作業マニュアル	1
(4)	配送及び配膳方法	1
2.	親子方式による給食業務の実施状況	2
3.	食育の推進	2
4.	児童・保護者・教職員の声	3
(1)	児童アンケート	3
(2)	保護者アンケート	4
(3)	教職員アンケート	5
5.	まとめ	6
II.	資料編	7
①	給食配送スケジュール	7
②	配膳室見取り図	8
③	配膳作業マニュアル	9
④	親子方式による給食提供工程写真	12

## I. 検証結果

### 1. 導入準備

#### (1) 配膳室

給食を速やかに安全に運搬するため、車両停止位置から段差なく到着でき、子どもたちの教室からの動線も良い会議室を配膳室として使用することとし、室内を清掃後、備品を設置しました。

#### (2) 配送スケジュール

子校の給食開始時刻 12 時 20 分の約 30 分前までに給食が到着するようスケジュールを設定しました。

新入生の入学当初など、学年によって給食開始時刻が早まることがあるので、最速の給食開始時刻を 11 : 40 とし、それに合わせたスケジュールも設定しました。

#### (3) 業務委託、配膳作業マニュアル

親子方式導入にあたり、親校と子校間の給食及び給食終了後の食缶の配送業務と、子校の配膳室における配膳業務を民間事業者へ委託しました。

子校の子どもたちに安全かつ衛生的に給食を提供し、給食後の食器や食缶を速やかに葛城小学校に返却する配膳業務を円滑に遂行するため、「配膳作業マニュアル」を策定しました。

#### (4) 配送及び配膳方法

給食の温度を保ったまま、安全かつ衛生的に配送するため、おかずはクリップ付き二重保温食缶に配缶後、運搬用コンテナに収納、ご飯はご飯用保温コンテナにライスペーパーを敷いて配缶し、トラックに積載して配送します。

子校に到着したら、おかずは保温食缶を運搬用コンテナから出して、ご飯は保温コンテナのまま配膳用机に配膳します。給食は教室まで保温食缶や保温コンテナを開けることなく運搬することにより、温度を保ちます。

## 2. 親子方式による給食業務の実施状況

- ① 親校では、親子方式導入に伴い、既存の正職員2名に加えて会計年度任用職員（フルタイム）1名を追加し、調理と配送準備等を行っています。献立によっては、子校のおかずと親校のおかずを2回に分けて調理することもあるため、コンテナへの収納や台車への積載など配送準備担当人員が必要となります。
- ② 配送に使用する車両は、食品以外を積載しない専用車両を使用し、親校で台車に積載した給食を固定用の板を使って固定し、子校に搬送しています。親校の給食室から子校の配膳室まで、コンテナや食缶を開閉することはありません。
- ③ 配膳員は出勤後、着替え、手洗い、消毒をし、子校に直接配送される物品（牛乳、パンなど）が届く前に、配膳室の清掃・消毒をします。また、配膳室、保冷库などの温度をチェックし、記録します。
- ④ 子校に給食が到着したら、職員用食缶から保存食と検食用の配膳を行い、校長先生に検食を依頼します。この際、給食が冷めないよう食缶のフタを開ける時間をできるだけ短くし、速やかに配膳します。児童用の食器等をクラスに必要数ずつカゴに入れ、食缶とともに配膳棚に並べます。
- ⑤ 配膳員及び車両の運転手は、毎日の健康チェックと毎月2回の便検査を行い、その結果を市に報告しています。また、配送日誌及び配膳日誌を毎月市に提出しています。

## 3. 食育の推進

- ① 令和7年1月、学年を3グループにわけて、子校の全児童が親校を訪問、給食調理過程を見学したり、調理員へ質問したりして、給食に関する様々なことを学ぶとともに、給食が提供されることへの感謝の気持ちを育み、食の大切さについて学んでいます。

給食室を見学したあとは、学校内を案内してもらい、親校の同学年の児童の教室と一緒に給食を食べ、交流を図りました。

- ② 親校の創立記念日などの休校日には、調理員が給食時間に子校を訪問し、その日の献立を説明するなど、積極的に児童に声をかけコミュニケーションを図るとともに、児童の食べる様子を視察し、配缶量の参考にすることにより、食品ロスゼロに取り組んでいます。

#### 4. 児童・保護者・教職員の声

##### (1) 児童アンケート

###### ① 調査の目的

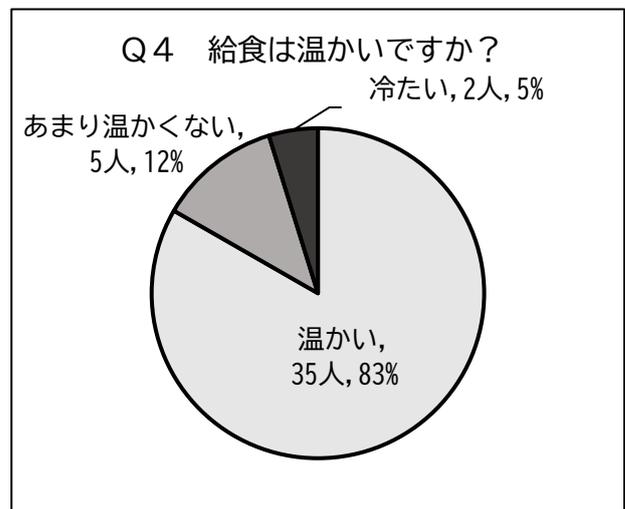
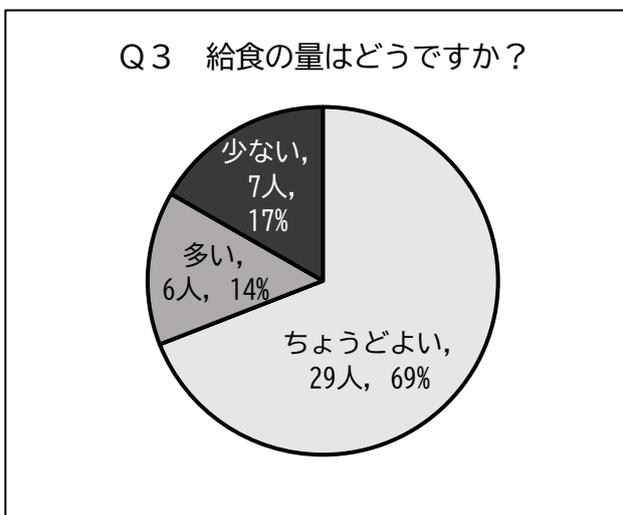
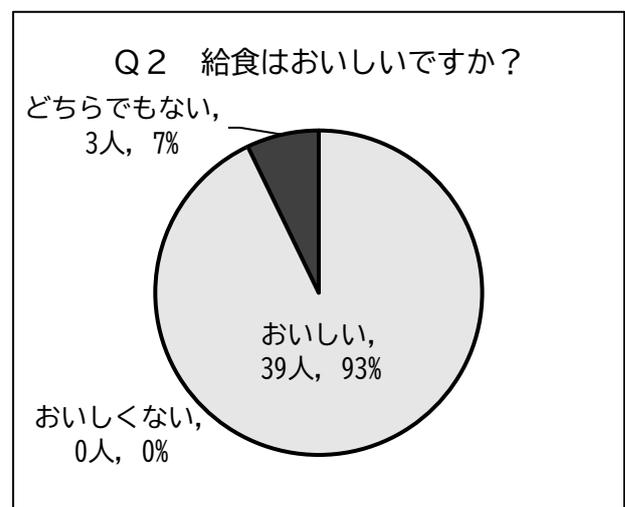
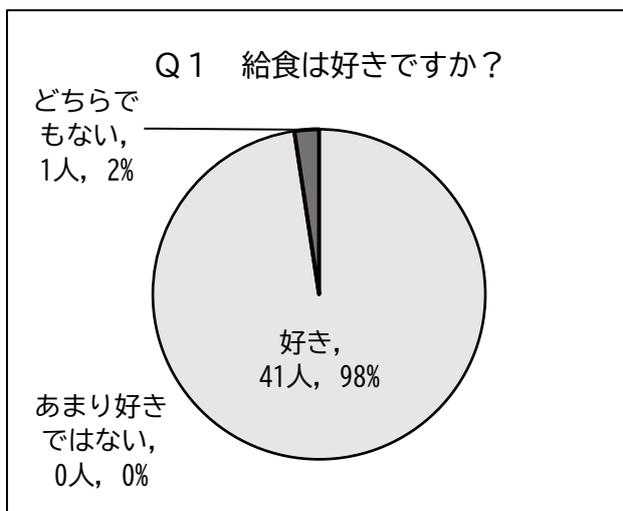
子校の児童の給食に対する印象及び給食の提供状況を把握し、その結果を給食の充実や食育の推進に活用する。

###### ② 調査の対象

子校に通学する児童

###### ③ 調査実施期間 令和7年1月24日(金)～2月14日(金)

###### ④ アンケート調査結果



##### [自由記述(抜粋)]

- ・ご飯やお汁が温かくおいしいです。
- ・カレーがもっと食べたい。
- ・量を増やしてほしい。

## (2) 保護者アンケート

### ① 調査の目的

子校の児童の保護者に、実際に親子方式で提供している給食を試食してもらった感想と、学校給食全般に対する意見を聞くことにより、給食の充実や食育の推進に活用する。

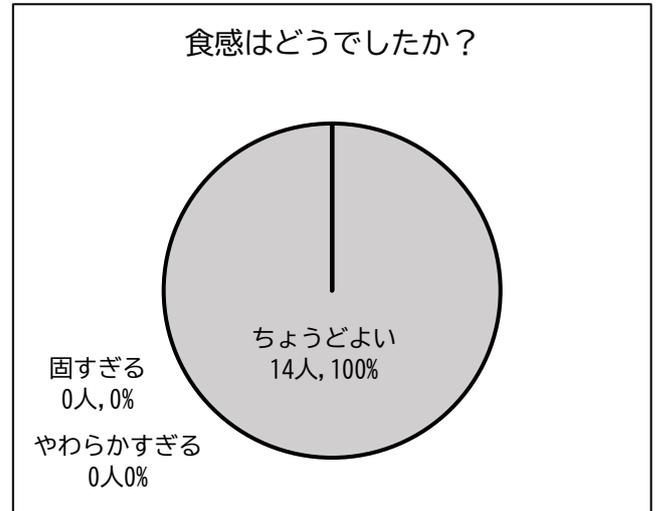
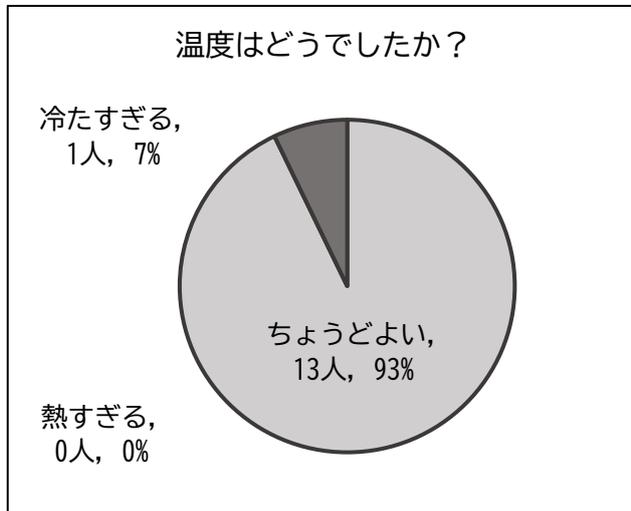
### ② 調査の対象

令和7年2月14日に実施した子校保護者給食試食会に参加した保護者

### ③ 調査実施期間

令和7年2月14日

### ④ アンケート調査結果



### [自由記述 (抜粋)]

- とてもおいしかったです。化学調味料をできるだけ使わないのがうれしいです。牛乳はコップが使えるといいなと思いました。
- とてもおいしかったです。うす味だと思っていましたが、素材の味がしっかり感じられました。
- すごくおいしい給食を作って頂きありがとうございます。子どもが苦手な食材、例えばゴーヤ、トマトなども少しずつ取り入れてほしいです。
- 野菜の甘みがしっかり感じられたお料理でした。大豆のかりんとうもお箸の練習になるなあと思いながら完食させていただきました。
- いつもおいしい給食を提供してくださりありがとうございます。量が少ないと子どもが言っているので、量を増やしてほしいです。

### (3) 教職員アンケート

#### ① 調査の目的

子校の児童とともに給食時間を過ごす教職員のみなさんから、子どもたちの給食に対する印象や給食の提供状況を聞き、その結果を給食の充実や食育の推進に活用する。

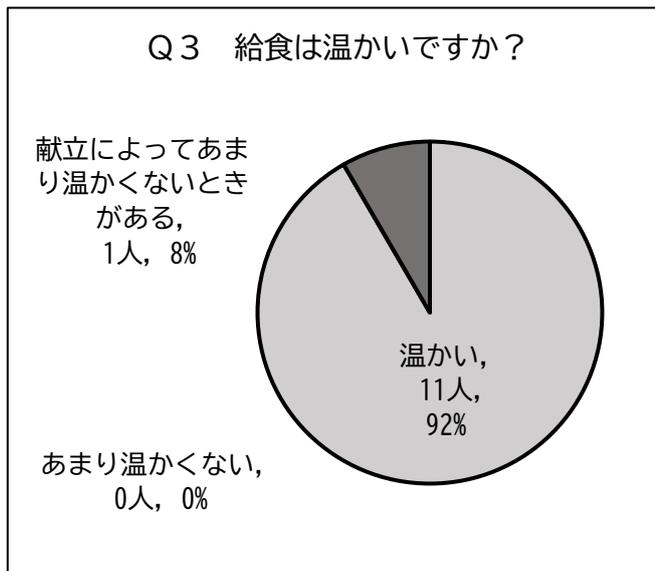
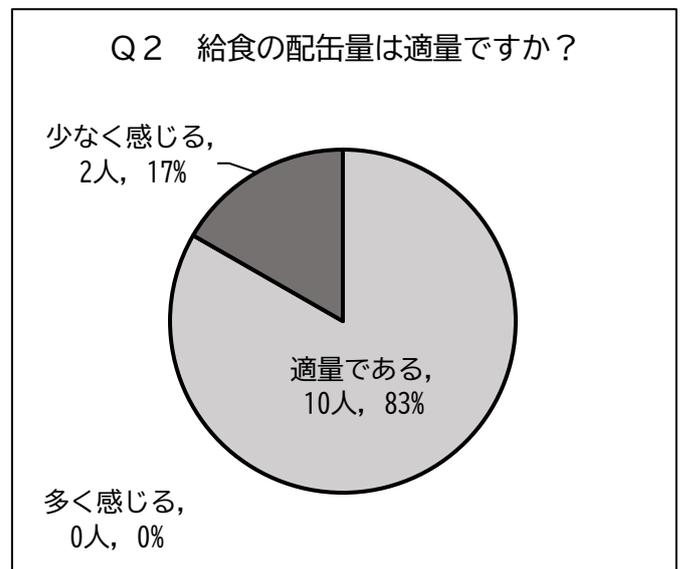
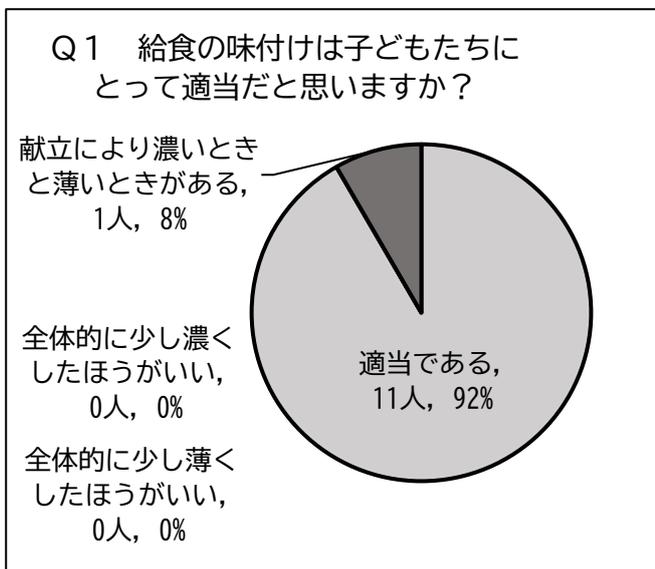
#### ② 調査の対象

子校に勤務する教職員

#### ③ 調査実施期間

令和7年1月24日～2月15日

#### ④ アンケート調査結果



#### 【自由記述（抜粋）】

##### ◎親子方式について

- ・初めは新しいことに戸惑うこともありましたが、今はもう慣れてきたように思います。
- ・見学も実施していただいたので調理員さんが心を込めて作ってくださっていることと、暖かく迎えて下さった葛城小学校のみなさんと一緒に過ごすことで、感謝のきもちが強まったと思います。
- ・変わらずおいしく食べています。

##### ◎給食全般について

- ・調理、運搬、配膳と細心の注意を払ってくれていることに感謝します。
- ・小さい学校ではあるが、栄養教諭がいると有難いと思います。
- ・親子給食はできるだけ避けて欲しいです。食育の観点から、学校内で給食を作っていたら、愛情をこめて作っているところを日頃から感じる事が出来ます。

## 5. まとめ

永寿小学校給食に親子方式を導入するにあたり、事前に2回の試行と1回の保護者試食会を行いました。試行の段階では、葛城小学校の給食室でも永寿小学校の配膳室でも不慣れな面が見られましたが、保護者試食会の際にはかなり円滑に業務が進行するようになりました。

新入生が入学して間もない4月上旬は、新入生だけ給食時間が早まる期間がありましたが、時間どおりに提供することができたとともに、他の学年の給食も同時に配送しましたが、保温食缶の効果で冷めることなく提供することができました。

また、葛城小学校の創立記念日には、本来休日である調理員が出勤して永寿小学校分の給食を調理・配送準備をし、給食時には永寿小学校を訪れ、その日の食材や献立について説明するとともに、子どもたちの食べる様子や残食状況をチェックして、永寿小学校の子どもたちの食育の推進と今後の残食の削減に取り組みました。

さらに、2月には永寿小学校の児童全員が数日に分かれて葛城小学校の給食室を視察し、調理風景を見学するとともに、葛城小学校の同学年の児童の教室で一緒に給食を食べて、学校間の交流を図りました。

永寿小学校の配膳員も、給食の受け渡しの際には子どもたちに積極的に声をかけ、食に対する感謝の心を育んでいます。

永寿小学校の児童、その保護者、教職員を対象としたアンケート調査結果からも、おおむね親子方式に対する不具合は見られませんでした。

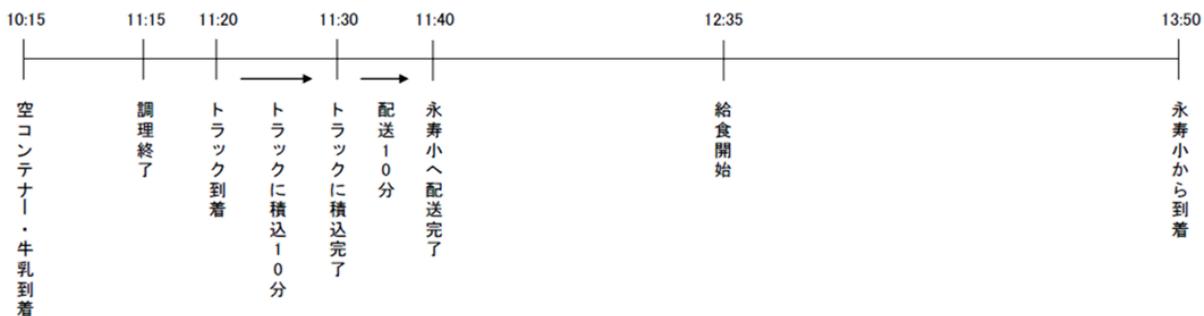
以上のことから、永寿小学校においては今後も親子方式による給食を継続する意向であり、将来的には小規模化している他の小学校においても、施設の老朽化を注視しながら自校方式以外の提供方法を検討してまいります。

## II. 資料編

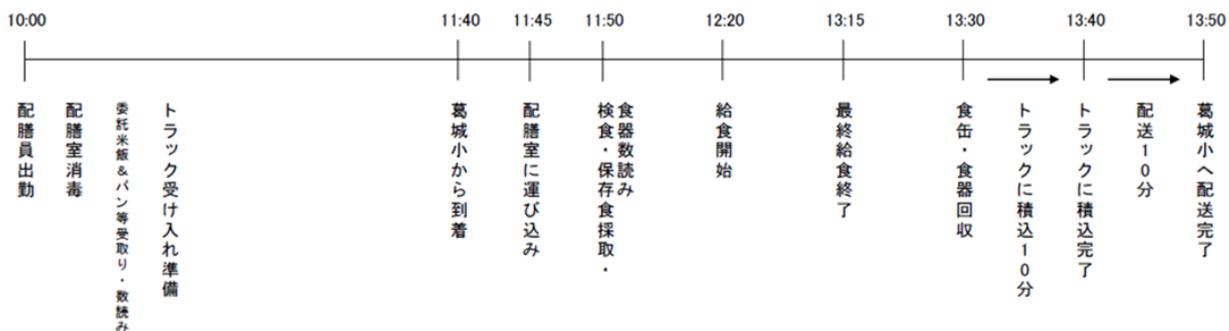
### ① 給食配送スケジュール

葛城小学校から永寿小学校への給食配送スケジュール(通常パターン)

○葛城小学校

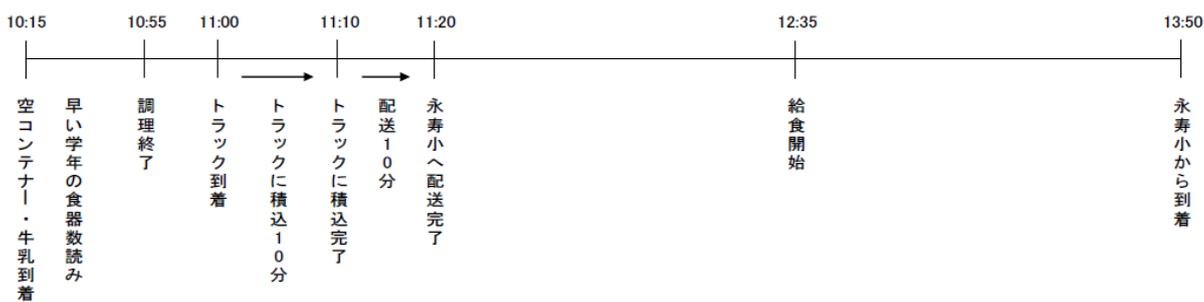


○永寿小学校

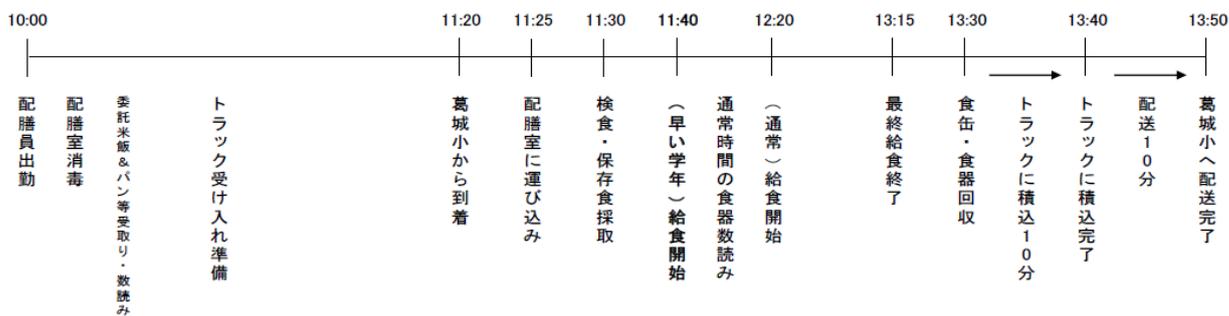


葛城小学校から永寿小学校への給食配送スケジュール(最速パターン)

○葛城小学校

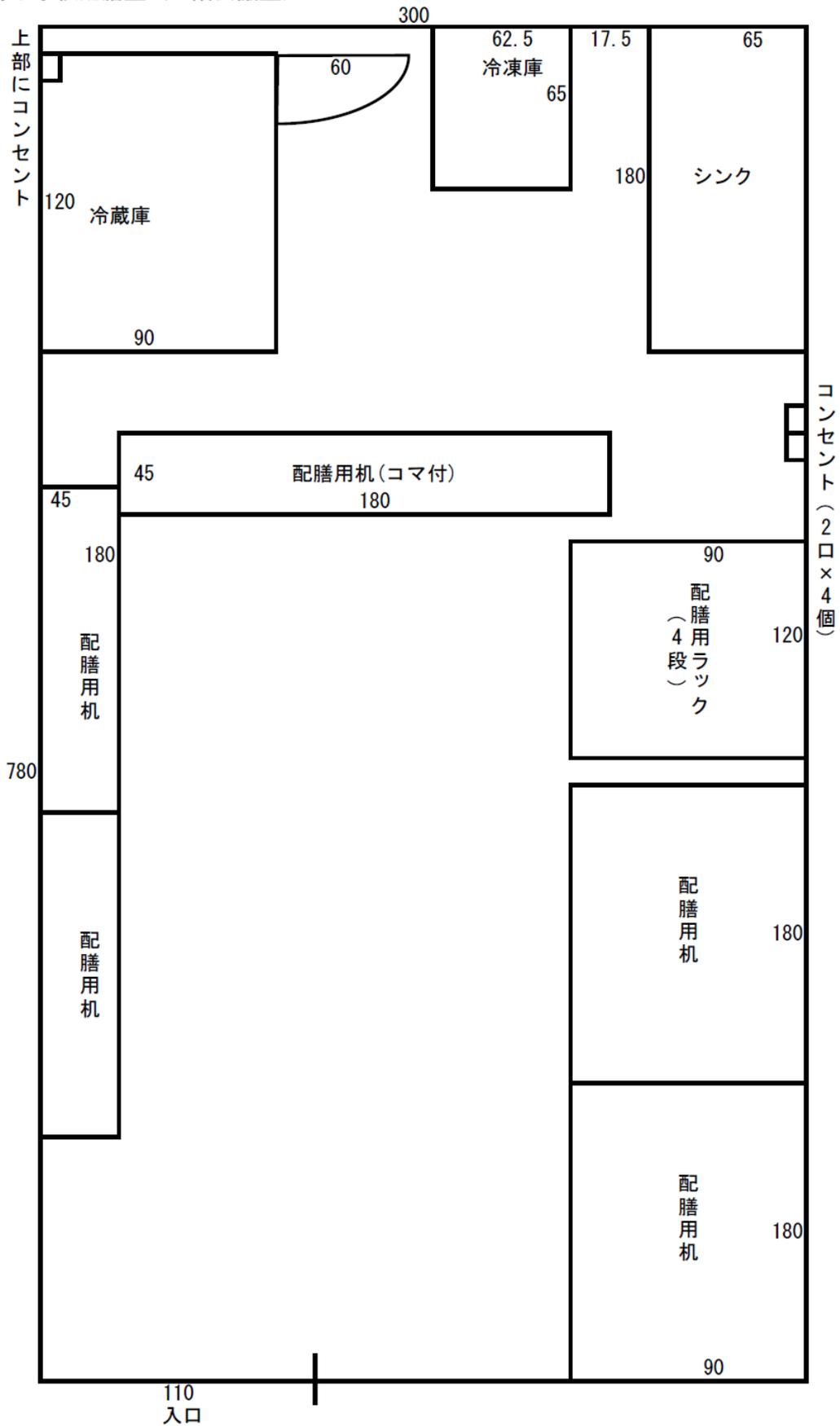


○永寿小学校



② 配膳室見取り図

永寿小学校配膳室（1階会議室）



# 配膳作業マニュアル

貝塚市立永寿小学校

## 【給食到着前の準備】

- 1 出勤
- 2 衛生服に着替えてマスクをつけ、  
身だしなみをチェックする。  
(爪チェック、マニキュア・指輪・ピアス等禁止、  
髪の毛は帽子から出ないこと)
- 3 健康衛生チェック表を記入する。
- 4 手洗い(手洗いマニュアルを守る)  
→アルコールを手に噴霧→手袋→アルコール
- 5 配送到着までの清掃・準備を行う。  
(廊下の掃除、ラック・テーブル・牛乳かごのアルコール消毒等)
- 6 入室約30分後に配膳室・保冷庫・保存食用冷凍庫の  
温度、時刻、状況を確認し記録する。

### 【給食の準備】

- 7 牛乳が届いたら、食数ごとに牛乳ケースに入れ、保冷庫に保存する。
- 8 パンまたは委託米飯・直送のデザート等を受け取り、食数ごとに分け、要冷蔵の食品は保冷庫で保存する。  
(パンは、担任分を小袋に分けて入れ、分別する。)
- ※直送の食品は、数量を確認し、表面温度計で温度を測り、届いた時間・温度・期限日付を記録する。
- 9 葛城小学校から配送されてきた給食を配膳室に運び込む。
- 10 校長先生へ検食を準備する。(給食開始の30分前に食す。)
- 11 保存食を冷凍庫に保管し、記録する。
- 12 食器類を数え、グループごとのコンテナに入れる。
- 13 牛乳以外をラックに配膳する。
- 14 給食時間直前に、牛乳・要冷蔵の食品を保冷庫から出す。

### 【給食提供時】

- 15 給食の受け渡し時に、児童のサポートをする。

### 【給食提供後】

- 16 給食提供後、配膳室の清掃を行う。
- 17 給食終了後、児童が食器、食缶、洗浄後の牛乳パック、残乳バケツを配膳室に返却してくるので、サポートする。

18 残食を廃棄し、食缶等を下洗いする。  
食器・トング・お玉等を種類ごとにまとめる。  
洗浄後の食缶をコンテナに入れ、配送の準備をする。

19 コンテナ等を配送者へ渡す。

20 給食回収後の清掃を行う。(※)

※清掃内容

\* 配膳室の掃き掃除→モップで水拭き

\* 爪ブラシをジアにつけ→5分後水洗い

\* ジア→水拭き

(テーブル・ラック・保冷庫・冷凍庫の取手・  
ドアノブ・換気扇のスイッチ)

\* 牛乳かごの洗浄

\* 洗剤等の確認・補充

\* ごみを指定場所へ運搬

\* 毎週金曜日に保冷庫内をアルコール拭き

21 退勤

④ 親子方式による給食提供工程写真  
【永寿小学校配膳室】



配膳室の消毒作業



牛乳かごの消毒作業



牛乳のクラス分け



牛乳は、クラス分け後、冷蔵庫に保管



パンのクラス分け



【葛城小学校給食室】



調理した給食をクリップ付き  
二重保温食缶に配缶



食缶をコンテナに収納し、  
ふたをする。



トラックに積み込み、固定  
する。